



昭和20年(1945)三河地震で発生した宗徳寺の地割れ(蒲郡市)



津波により本尊の延命地藏尊が漂着したという言い伝えがある東漸寺(豊川市)



つなみん

じわれん

# 歴史地震記録に学ぶ 防災・減災ガイド 東三河編

先人たちが伝えようとしたことに、  
耳を傾けてみんかのお



げんさい 減齋さん



明治24年(1891)濃尾地震と翌年の暴風雨によって壊滅した新田を買い取り、神野新田を開拓した神野金之助の頌徳碑と、新田堤防沿いに建立された護岸観音(豊橋市)



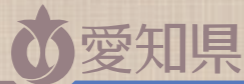
嘉永7年(1854)安政東海・南海地震による津波を契機に、貝やかきの殻を積み上げてつくられた津波除けの海岸堤防『かいがらぼた』(田原市)



宝永4年(1707)宝永地震、嘉永7年(1854)の安政東海・南海地震で石垣等の破壊の記録が残る吉田城(豊橋市)



嘉永7年(1854)安政東海地震による津波の様子が描かれた御厨神社の絵馬(豊橋市)



※このパンフレットは、市町村誌や体験談集など地域に残る記録を参考にして作成したものです



No	豊橋市	碑史跡	エリア
1	前芝神明社		C6
2	前芝町付近		C6
3	神野新田*	○	C7
4	八柱神社(八王子大明神)	◎	C8
5	高須新田		C6
6	正行山専願寺		C6
7	川崎神明社		C6
8	吉祥院		C8
9	栄昌寺		C6
10	進雄神社		C6
11	医王寺(薬師如来仏)	◎	C6
12	歓喜寺		C6
13	日吉神社		C6
14	菰口神明社*		C6
15	満光寺		D6
16	花田町付近		D6
17	ささゆりの里(震災鎮めの石碑)*	◎	D8
18	法蔵寺(馬頭観音)*	◎	D8
19	潮音寺		D7
20	神宮寺(願かけ地藏)*	○	D6
21	時習館		D6
22	吉田城*		D6
23	龍枯寺(観音像)*	○	D6
24	安久美神戸神明社*		D6
25	菟頭神社(戸とうの宮様)*	○	D8
26	秋葉山常夜燈		D6
27	大村八所神社*		D6
28	御厨神社(絵馬)*	◎	D7
29	東漸寺(行者塔)	◎	D7
30	進雄社		D7
31	東観音寺*	◎	D7
32	正法寺		D7
33	小島神社		D7
34	大応寺		D7
35	二川の鳥居		D7
36	真月寺		D7



No	田原市	碑史跡	エリア
1	かいがらぼた*	◎	A9
2	常光寺*	◎	A8
3	堀切(西堀切村絵図)注	◎	A9
4	堀切付近		A8
5	薬樹山医王寺		A8
6	正福寺		A8
7	日吉神社		A8
8	田原市渥美郷土資料館	◎	A8
9	正念寺		A8
10	若宮八幡社*		B8
11	赤羽根小学校		B8
12	安楽寺		B8
13	西園寺		B8
14	高松八柱神社		B8
15	田原城*		C7

No	蒲郡市	碑史跡	エリア
1	形原神社*(わすれじの碑)	○	B6
2	大光院*(松島地藏菩薩)	◎	B6
3	宗徳寺*(三河地震による地割れ)	○	B6
4	形原北保育園		B6
5	御嶽神社*		B6
6	形原小学校(旧形原国民学校)		B6
7	白山神社		B6
8	金海山全保寺		B6
9	太田新田		B6
10	犬飼港		B6

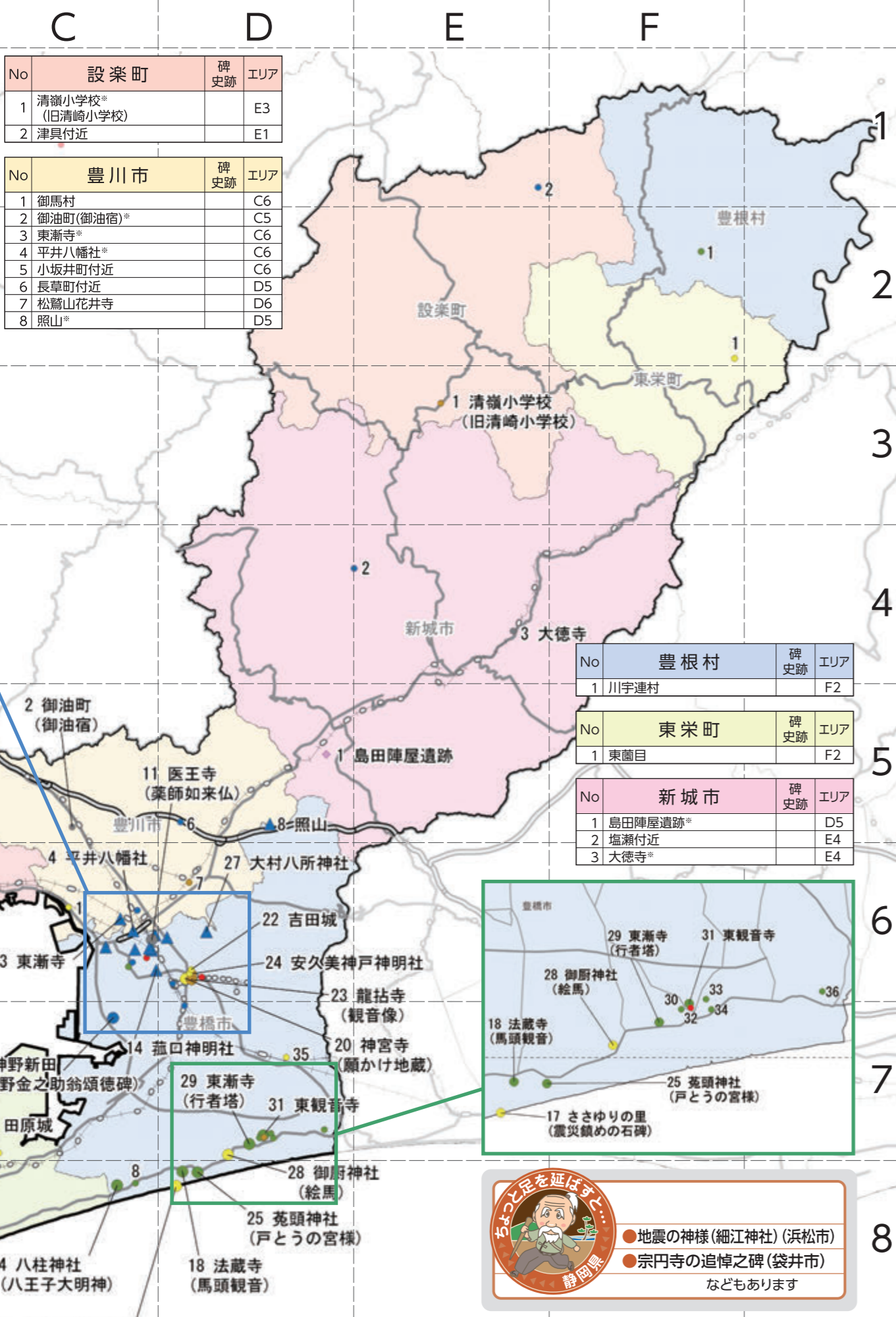
※: 解説ページあり ○: 地震に関する碑・史跡  
注) 田原市渥美郷土資料館所蔵 ◎: 地震・津波に関する碑・史跡

凡例	
○	地震・津波関係
●	碑・史跡 被害記録ありのみあり
●	宝永4年(1707)宝永地震
●	嘉永7年(1854)安政東海・南海地震
●	明治24年(1891)濃尾地震
●	昭和19年(1944)昭和東南海地震
●	昭和20年(1945)三河地震
●	その他(年代不明を含む)
◇	遺跡調査時に確認された地震痕跡(砂浜・噴砂)
▽	(断層)
★	(地割れ)
▲	高潮・波浪関係



A B





### 災害を今に伝える史跡など

※この地図は、主に市町村誌や体験談等を参考に、地震に関する碑・史跡や、被害記録がある地点をプロットしたものです。

- 地震の様様(細江神社)(浜松市)
- 宗円寺の追悼之碑(袋井市)

などもあります



### こんな言い伝えもあります

#### ◆渥美町史によると…

天長4年(827)、この地方に大地震が起こり、越津の海岸は大陥没した。美しく湾曲していた磯岩も、賑やかだった家並も半分以上海底に沈んでしまった。危く難を免れた人々は北へ避難し、地名も現在の小塩津と改めたと伝えられています。なお、正福寺や日吉神社もまたこのころ現在地へ移ったといわれています。

先人の声を聞き活かしていくことが大切なじゃ

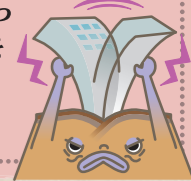


げんさい  
**減斎さん**  
昔の地震のことを、とても詳しく知っているおじいさん。

### ちょっといい話

三河地震の際に、形原町で医師をされていた方の震災体験記より(抜粋)

「その夜、私たちは子供を一名ずつ背負って手を取り合って妻と二人で暗闇をほうようにして、裏畑へ避難した。すると次から次へと倒れてゆく家屋の不気味な音、その間から泣きさけぶ声、助けを求める声、親をさがす声、子をさがす親の声、明けはじめた暁の闇を通じて右往左往する人々の姿は全く地獄絵図であった。つぎの瞬間私は医師として、じっと避難していることもできず、看護婦にあるだけの衛生材料と外傷薬、注射などを持たせ、なお揺れている町に飛び出し、倒れている家に肝をつぶしながら、私は夢中で多くの負傷者に応急手当をして廻った。…重傷、要手術者、軽傷とわけて学校の教室を臨時治療室として軽傷者を治し、重傷者は蒲郡、豊橋、岡崎の病院へ輸送したものである…」



ゆらすん

### 三河地震の際の震災体験記から

三河地震の際に、形原町で被災された方(当時40歳)の震災体験記より

…一月十三日午前三時すぎ頃、どどともすごい音で飛び起きた。「地震だっ」私たち夫婦と子供三人、一部屋に寝ていた。「出るんだ」と叫んだが、余りの揺れ方に立つにも立てず這うことさえ出来ない。蒲団の上にはみついたまま、「これで死ぬのか」と思った瞬間少々揺れ止んだ。このときとばかりに長男を先に立て、下の二人は一人ずつ抱えて飛び出した。…「助かったッ」と一息つく間にまた揺れ出した。…本家はどうかと闇にすかしてみると、あるべき大きな家がない。つぶれた家の中より「助けてッ」の母親の声。気ばかりあせれど、灯りもなく、道具一つなしではどうすることもできぬ。近づいて叫んで励ますだけが精一杯…。



### 防災・減災のための 一口メモ

- 地域の被災傾向を知って、地震に備えましょう。
- 地域の地名の由来を知って、災害危険箇所を掴んでおきましょう。
- 先人の声(警鐘)に耳を傾けて、過去の地震の教訓を防災・減災行動に生かしましょう。
- 地震後の大雨、洪水、高潮などによって、複合災害が起きています。地震以外の災害にも注意しましょう。
- 現代の有益なサービス(緊急地震速報、地域のメールサービスなど)を利用して、落ち着いて行動しましょう。
- 地震の際の危険な箇所を知って、避難行動に生かしましょう。
- 被災時には、まずは自分の身は自分で守りましょう。被災後は地域の方々と協力しましょう。

### 関連情報

- 東三河地域防災協議会では、東三河地域沿岸域(豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市)を対象として、津波の歴史やその被害を受けた地区等について整理し、パンフレット「**愛知県東三河地域における地震による津波の歴史**」を作成・公開しています。  
<http://www.city.toyohashi.aichi.jp/bousai/tsunamirekisi.html>
- 地震の際の体験談がまとめられています。「**地震体験記録集—関東大震災・東南海地震・三河地震—**」(愛知県)「**東南海地震 三河地震 体験談集—大地震に備えて—**」(西尾市)「**わすれじの記 —三河地震による形原の被災記録—**」(三河地震記念事業奉賛会)など(愛知県図書館、蒲郡市立図書館などでご覧になれます)
- 愛知県では、県民の皆さまがインターネット上で簡単に大地震の際の自宅(木造)の様子の映像を観たり、地域の防災情報等を得たりすることができる「**防災学習システム**」を公開しています。  
<http://www.quake-learning.pref.aichi.jp>

### この資料について

この資料は、「地域に残る地震の記録」などを知っていただき、地震をより身近に感じていただくことを通じて、県民の皆さまが防災・減災を考えていただくきっかけになれば、との思いから作成されたものです。この資料を作成するにあたり、下記の方々のほか多くの方々のご協力・ご助言をいただきました。記して感謝の意を表します。

〈作成協力〉 | **歴史地震記録に学ぶ防災・減災ガイド委員会** 委員長:武村 雅之 委員:加藤 規博 隈本 邦彦 栗田 暢之 近藤 ひろ子 佐藤 克彦 (敬称略) 鈴木 康弘 都築 充雄 服部 俊之 廣井 悠 福和 伸夫 溝口 常俊 護 雅史 山中 佳子(50音順で記載)

### 歴史地震記録に関する情報を探しています。

この地域の過去の地震・津波に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などを探しています。ご存知の情報を下記までお知らせください。

